

朝倉氏研究論文(戦後)一覧

図書(単行本)、図録、遺跡発掘関係報告書は別途掲載になります。

今回の論文には『朝倉氏遺跡資料館紀要』掲載の論文は除外しております(別掲載)

記載は原則論文公表年順となっております。

朝倉敏景十七ヶ条	芳賀幸四郎	秋大史学 7	1956
大徳寺真珠庵と朝倉氏	横田健一	史迹と美術 27(6)	1957
朝倉始末記の成立について	平泉洗	芸林 8-3	1957
再び朝倉始末記の成立について	平泉洗	芸林 9-2	1958
室町後期の土地関係 - 越前国織田庄を中心に	宮川満	『中世社会の基本構造』所収	1958
本百姓についての一考察 - 織田荘の終末	山本孝衝	若越郷土研究 4-1	1959
越前一乗谷版の医書と一柏老人	平泉恍	芸林 11-2	1960
織田荘の分数名と散田	山本孝衝	若越郷土研究 6-2	1961
戦国大名領の形成過程	松沢知代	史窓 19	1961
越前朝倉氏の文芸	米原正義	国学院雑誌 63(10・11)	1962
中世城館の歴史地理学的考察	小林健太郎	人文地理 15-4	1963
曹洞宗宏智派の発展と朝倉氏	今枝愛真	日本仏教 21	1965
朝倉孝景条々の解題	佐藤進一他	『中世法制史料集第三巻』所収	1965
越前一乗谷の清原宣賢 - 天文十二年記	近藤喜博	ミュージアム 180	1966
朝倉孝景(英林居士)に関する研究	松原信之	福井県地域史研究 2	1970
一乗谷朝倉氏遺跡	牛川喜幸	月刊文化財 109	1972
曾我派と朝倉文化	源豊宗	古美術 38	1972
一乗谷遺蹟出土の陶磁片	満岡忠成	古美術 38	1972
一乗谷朝倉氏遺蹟	河原純之	古美術 38	1972
朝倉始末記の解題	桑山浩然	『蓮如一向一揆』所収	1972
朝倉英林壁書の解題	石井進	『中世政治社会思想・上』所収	1972
朝倉領国支配の一考察	松原信之	福井県地域史研究 3	1972
越前朝倉氏の興亡-上-	田村恵理子	史迹と美術 43(8)	1973
越前朝倉氏の興亡-下-	田村恵理子	史迹と美術 43(10)	1973
一乗谷朝倉氏館跡の発掘と保存	藤原武二	地方史研究 23(5)	1973
朝倉氏の宗教政策と越前一向一揆	重松明久	『中世真宗思想の研究』所収	1973
朝倉孝景と越前守護職	重松明久	若越郷土研究 18-3	1973
朝倉政権の画期と特質についての素描	水藤真	一乗谷史学 2	1973
朝倉景豊の乱と教景宗滴について	水藤真	若越郷土研究 18-6	1973
谷野一柏をめぐる朝倉医学考	岩治勇一	若越郷土研究 18-3	1973

戦国大名朝倉氏の領国支配と名体制	河村昭一	史学研究 123	1974
朝倉氏遺跡本館跡外濠の調査	水野和雄	考古学雑誌 60(1)	1974
最近の一乗谷朝倉氏遺跡の調査	河原純之	月刊文化財 124	1974
朝倉始末記の成立とその変遷	松原信之	福井県地域史研究 4	1974
朝倉宗滴話記について	水藤真	一乗谷史学 3	1974
一乗谷の石塔・石仏	水藤真	一乗谷史学 5	1974
朝倉教景の越前国敦賀郡支配	水藤真	一乗谷史学 7	1974
十五世紀の越前国守護代について	小泉義博	一乗谷史学 7	1974
戦国大名朝倉氏の領国支配と名体制	河村昭一	史学研究 123	1974
中世末期に於ける北陸地方の学芸 - 特に一乗谷の朝倉氏を中心に	平泉洸	金沢工業大学研究紀要 B1	1975
朝倉光玖と大野領	松原信之	福井県地域史研究 5	1975
朝倉氏の敦賀郡支配について	河村昭一	若越郷土研究 20-1	1975
朝倉氏景・子春宗孝	水藤真	一乗谷史学 8	1975
朝倉貞景・天沢宗清	水藤真	一乗谷史学 9	1975
朝倉孝景・性安宗淳	水藤真	一乗谷史学 10	1975
浅羽本『日下部系図』の朝倉孝景の事績について	小泉義博	若越郷土研究 20-3	1975
当国御陳之次第--朝倉氏の軍事行動の記録	小泉義博	北陸史学 25	1976
朝倉孝景の任越前守護職をめぐって	重松明久	史学研究 136	1977
一乗谷朝倉氏遺跡の調査 - この十年	水藤真	日本歴史 346	1977
一乗谷朝倉氏遺跡の保存に関する諸問題	藤原武二	地方史研究 28(6)	1978
戦国時代織田庄に出現した散田について	古田憲司	『中世日本の歴史像』所収	1978
南北朝期における守護権力構造 - 斯波氏の被官構成(1)(2)(3)	河村昭一	若越郷土研究 23-2.3.4	1978
朝倉の家訓-上-	平泉洸	金沢工業大学研究紀要 B4	1979
一乗谷朝倉氏遺跡の城下復元	水野和雄	月刊文化財 206	1980
越前朝倉氏の在地支配の特質	神田千里	史学雑誌 89(1)	1980
一乗谷朝倉氏遺跡の発掘と環境整備	小林健太郎	地理 26(11)	1981
朝倉の家訓-下-	平泉洸	金沢工業大学研究紀要 B5	1981
越前朝倉氏と但馬	宿南保	地方史研究 32(2)	1982
朝倉氏館跡発掘調査について	石松好雄	帝塚山考古学 3	1983
戦国大名朝倉氏領国と寺社領	松浦義則	福井大学教育学部紀要 第 3 部社会科学 33	1983
戦国家訓の白眉--朝倉英林壁書--城主心得	山田武男解説	Will3(11)	1984
朝倉氏遺跡の環境整備について(一乗谷遺跡)	藤原武二	日本の美術 214	1984
戦国期近衛家領、越前宇坂庄について	湯浅敏治	史泉 60	1984

清原宣賢の教育活動と朝倉政権	大戸安弘	東京学芸大学紀要第1部門 教育科学 36	1985
越前一乗谷における町屋について	小野正敏	吉川弘文館『論集日本原史』 所収	1985
「朝倉家記」所収南北朝期文書の再検討	河村昭一	日本歴史 463	1986
「禅林の文学--中世文学受容の様相」朝倉尚	蔭木英雄	国語と国文学 63(4)	1986
史跡公園一乗谷朝倉氏遺跡	藤原武二	月刊文化財 270	1986
朝倉氏領国制下の府中兩人	松浦義則	福井大学教育学部紀要第3 部社会科学 37	1987
南北朝内乱と越前朝倉氏の勃興 --「朝倉家記」所収南北朝期文書の再検討	松原信之	日本歴史 480	1988
七郎小法師と朝倉義景	寺下一義	地方史研究 39(1)	1989
越前足羽郡の中世荘園	佐藤圭	福井県立博物館紀要 3	1989
福井朝倉氏一乗谷の庭園遺跡	藤原武二	仏教芸術 192	1990
戦国期越前国の負担体系と朝倉氏 --敦賀郡善妙寺領の分析	野沢隆一	国史学 141	1990
朝倉氏の越前入部について	佐藤圭	年報中世史研究 15	1990
越前朝倉館の「太平記」	長谷川端	国語と国文学 68(12)	1991
朝倉氏遺跡出土の「湯液本草」	真柳誠	日本医史学雑誌 39(4)	1993
一乗谷朝倉氏遺跡について	藤原武二	新都市 48(10)	1994
守護斯波氏の凋落と朝倉氏、織田氏の台頭	佐藤圭	歴史群像『応仁の乱』所収	1994
「朝倉始末記」の本文を考える --作者の批評精神その他	笹川祥生	女子大國文 117	1995
朝倉孝景条々の一考察	佐藤圭	福井県史研究 13	1995
清原宣賢の『孟子』講義と朝倉政権(1)	大戸安弘	筑波大学教育学系論集 20(2)	1996
朝倉氏と近隣大名との関係について -美濃・近江・若狭を中心として-	佐藤圭	福井県史研究 14	1996
一乗谷朝倉氏遺跡の発掘と史跡整備 --その三〇年のあゆみと今後の課題	南洋一郎	月刊文化財 423	1998
一乗谷朝倉氏遺跡の保存と整備	吉岡泰英	緑の読本 45	1998
越前国人堀江氏の動向について	松浦義則	福井大学教育学部紀要 第 3部, 社会科学 54	1998
朝倉氏と永平寺(第四十五回宗学大会紀要)	熊谷忠興	宗学研究 42	2000
一乗谷朝倉氏遺跡の整備と活用 --最近の整備事例から	南洋一郎	月刊文化財 456	2001
細川氏被官、上原氏の没落と越前朝倉氏	松原信之	戦国史研究 41	2001

戦国大名越前朝倉氏の菩提寺心月寺の位置と墓地について - 卵塔発見によせて -	青木豊昭	鯖江郷土史懇談会会報 9	2001
戦国大名の流通政策に関する一考察 --越前朝倉氏領国の馬借関係史料を素材として	松澤徹	早稲田大学教育学部学術研究地理学・歴史学・社会科学編 50	2001
近衛家領の宇坂庄と朝倉氏の一乗谷	松原信之	福井県地域史研究 11	2002
一乗谷朝倉氏遺跡に見る越前焼の様相	木村伸行	陶説 59	2002
史料紹介朝倉義景を謀殺した男の連歌 --天正元年朝倉信鏡百韻	沢井耐三	愛知大学総合郷土研究所紀要 47	2002
戦国大名権力における奉行人制の機能--越前朝倉氏の事例から	石崎建治	金沢学院大学紀要, 文学・美術編 (1)	2003
戦国大名朝倉氏による芸能の保護と越前猿楽	宮永一美	芸能史研究 161	2003
越前国国人衆の堀江氏から朝倉氏国衆へ--堀江氏の系譜を中心に	松原信之	若越郷土研究 48(1)	2003
朝倉氏による敦賀郡支配の変遷(上)(下)	松原信之	若越郷土研究 48(2)、49(1)	2004
戦国家訓「朝倉宗滴話記」の成立と分類解説	松原信之	若越郷土研究 50(1)	2005
朝倉氏戦国大名化の過程における「鞍谷殿」成立の意義	松原信之	若越郷土研究 51(1)	2006
戦国大名朝倉氏知行制の展開	松浦義則	福井県文書館研究紀要 4	2007
朝倉義景の合戦 研究最前線	佐藤圭	歴史読本 8月	2007

これ以外の戦後に書かれた論文(『朝倉氏遺跡資料館紀要』掲載論文除く)をご存知の方は、内容の充実に努めたいと考えておりますので、是非製作者までメールにてご連絡下さい。

【 h.okhome@hotmail.com 】